

令和5年度 (現代社会) シラバス

教科名	科目名	学年	学科	単位数	使用教科書
公民	現代社会	3	国際英語科	2	『現代社会』(第一学習社)

学習の到達目標	<p>・人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。</p>
---------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価の観点

a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解
現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現する。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。

- (1)プリントを中心に授業を進めます。次時までプリントつづり用のファイルを準備してください。
- (2)毎時のプリントには復習のためのプリントが添付しています。授業を受けた際には、必ず復習を心がけましょう。
- (3)授業がある日は、その時間の教科書の範囲はなるべく読んでおきましょう。
- (4)章末もしくは節末に小テストを実施する場合があります。

月	単元名	単元の目標	配当時間	学習内容	評価規準・評価方法	進度
4	①地球環境問題	・地球環境問題、資源・エネルギー問題、・生命にかかわる課題、情報の活用や情報にかかわる諸課題、について、よりよい社会を築くために解決しなければならない問題として考える。	1	・地球環境問題が国際的な問題となっていることや、その解決に向けての取り組みについて理解する。	現代社会の諸課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、自己の生き方と関連させながら考察しようとしている。【関心・意欲・態度】 現代社会の諸問題について自己との関わりに着目して課題を見だし、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、いかに生きるかについて社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。【思考・判断・表現】 現代社会の諸問題に関する諸資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。【資料活用技能】 現代社会の諸問題の現状や課題、社会の在り方を考察する基盤としての幸福、正義、公正について理解し、その知識を身に付けている。【知識・理解】	
	②資源・エネルギー問題		1	・資源の有限性について理解を深め、石油に代わる資源、資源を有効に利用するためにどのようにしなければならないかを考える。		
	③科学技術の発達と生命倫理		1	・科学技術の発達は、社会や生活をどのように変えてきたかを考え、理解する。 ・生命倫理をめぐる問題について、どのようなものがあるかを理解し、具体的事例をあげて考察する。		
	④高度情報社会と私たちの生活		1	・高度情報社会とは何かを理解し、情報化の進展が社会に及ぼす影響について考える。		
5 6	①民主政治における個人と国家	・人権保障、国民主権、権力分立等の原理を理解させ、各国の政治制度の特質を考えさせる。	1	・私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心を高め、国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解する。	現代の民主社会の法に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、個人の尊重と法の支配について考察しようとしている。【関心・意欲・態度】 現代の民主社会の法に関する諸事象から課題を見だし、民主社会における個人と法について幸福、正義、公正を用いて多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。【思考・判断・表現】 個人の尊重と法の支配に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。【資料活用技能】 個人の尊重、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について理解し、その知識を身に付けている。【知識・理解】	
	②基本的人権と法の支配		1	・基本的人権が保障される		
	③世界のおもな政治体制		1	・世界のおもな政治体制について、真の民主政治の実現と関連させて考察する。		
	①日本国憲法の基本原理		1	・日本国憲法の成立過程とその三大基本原理を理解し、地方自治・世論・選挙・政党などの意味をとらえている。		

	② 平和主義と安全保障		1	・日本国憲法の平和主義の特色を理解し、平和主義と日本の安全保障について、レポートをまとめる。	現代の民主社会の諸事象から課題を見だし、民主社会において求められる価値や民主政治を基礎付ける考え方について幸福、正義、公正を用いて多面的・多角的に考察し、民主政治の在り方や民主社会における人間としての在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。【思考・判断・表現】
	③ 基本的人権の保障と新しい人権		1	・自由権、社会権が私たちの生活をどのように変えたか、新しい人権とは何かをさまざまな立場にたつて考察する。	現代の民主政治に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。
	④ 国民主権と議会制民主主義		1	・国会の地位と構成、権限、議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化、裁判所の役割や裁判制度について、資料を収集し、レポートをまとめる。	【資料活用の技能】
	⑤ 内閣と行政の民主化		1		
	⑥ 裁判所と人権保障		1		
7	⑦ 地方自治と住民の福祉	・地方自治のもつ課題、政治参加の意義について、自分自身の問題として理解し、その知識を身につけ、具体的に考察する。	1	・地方自治に住民はどのような権利をもっているか、また、地方自治に住民はどのような権利をもっているか、その知識を身につける。	基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立について理解し、その知識を身に付けている。【知識・理解】
	⑧ 世論形成と政治参加		1	・政党の役割、選挙のしくみ、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、調査する。	
8	① 国家主権と国際法	・国際法の意義と役割について、多面的に考察し、理解する。	1	・国際法の意義と役割について、多面的に考察し、理解する。	国際社会における政治や経済の諸問題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察しようとしている。【関心・意欲・態度】
	② 国際連合の役割	国際機構を通じた国際社会の状況を理解し、現在問題になっている国際車記の問題を、地球市民の立場から概観し、国際社会の一員として何をすべきか、また望ましい解決策を考察する。	1	・勢力均衡と集団安全保障体制の違いについて考え、国連の役割と課題について理解する。	
	③ 今日の国際社会		1	・第二次世界大戦後の国際社会と冷戦終結前後の国際社会の状況について、年表を使って整理し、理解する。	国際社会の動向や問題から課題を見だし、国際平和や国際協力、国際協調の必要性及び国際的な組織の役割について幸福、正義、公正を用いて多面的・多角的に考察し、国際社会における日本の果たす役割及び日本人の生き方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえその過程や結果を様々な方法で適切に表現している。【思考・判断・表現】
	④ 核兵器の廃絶と国際平和		1	・核兵器を廃絶するには何が必要かを考え、核兵器の開発・拡散の状況、廃絶するための取り組みについて、具体的事例から多角的に考察する。	
9	⑤ 国境と領土問題		1	・国境と領土問題、特に日本の領土問題について知識を身につける。	国際社会の動向や諸問題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。【資料活用の技能】
	⑥ 地域紛争と人種・民族問題		1	・なぜ人種や民族の違いにより争うのかを考え、人種・民族紛争の実態、難民問題について理解する。	国際社会の動向、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解し、その知識を身に付けている。【知識・理解】
	⑦ 外交政策と日本の役割		1	・国際社会における日本の役割や、国際社会の一員として私たちは何をすべきか	

				を考える。	
10	①経済社会と経済体制	現代の経済社会の諸事象を理解し、その関心を高め、課題を見だし、合理的な解決策を提示することができる。	1	・経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解する。	現代の経済社会の諸事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、経済活動の在り方を考察しようとしている。【関心・意欲・態度】
	②現代の企業		1	・企業がどのような活動をしているか、株式会社の特徴を調査し、まとめる。	
	③市場経済のしくみ		1	・市場経済のしくみ、価格機構の働きを理解する。	
	④経済成長と景気変動		1	・経済成長は生活にどのような変化を与えるかを、具体的事例から考察する。	
	⑤政府の経済的役割と租税の意義		1	・財政政策の意義、日本の財政の課題を理解し、財政のしくみ、租税の意義と課題について、具体的に事例から考察する。	
	⑥金融機関のはたらき		1	・資金の流れ、金融機関の役割、日本銀行の役割を理解する。	
	⑦戦後の日本経済の動き		1	・日本の高度経済成長やバブル経済の要因を理解し、平成不況に対する政策を調査し、日本経済の課題を多角的に考察する。	
	⑧産業構造の変化		1	・技術革新による生活の変化、産業構造の変化、経済のサービス化・ソフト化について、身近な問題と関連させて考察する。	
11	⑨雇用と労働問題	・雇用事情の変化とさまざまな労働問題、日本の公害問題、消費者主権、日本の社会保障について、具体的事例をあげて多角的に考察する。	1	・雇用事情の変化と労働条件や労働環境を理解する。	
	⑩公害の防止と環境保全		1	・日本の公害問題を理解し、公害に対する国や企業の対応、公害を防止し環境を保全するための方策について考える。	
	⑪消費者保護と契約		1	・消費者問題について、自分自身の問題として具体的事例をあげて考察する。	
	⑫社会保障と国民福祉		1	社会保障の意義を理解し、現代の社会保障の課題について考察する。	
	①国際経済のしくみと貿易の拡大	・貿易の意義、円高・円安の生じる理由、経済のグローバル化について考える。	1	・貿易の意義、円高・円安のしくみについて、身近な事例から適切に表現する。	国際社会における政治や経済の問題への関心を高め、それらを意欲的に追究し、国際社会における日本の果たす役割及び日本人の生き方を考察しようとしている。【関心・意欲・態度】
	②国際経済の動向		1	・地域的経済統合をはかる動きが見られることを理解しそれによって何がもたらせるかを理解する。	

	③発展途上国の経済と南北問題 ④国際協調と日本の役割	考察する。 ・発展途上国の問題を理解し、国際協力のあり方、国際経済の中での日本の役割について自分自身の問題として考える。	1 1	・南北問題の発生した原因について考え、発展途上国のかかえている問題について理解する。 ・発展途上国の人口問題や食料問題について、情報を収集し、調査した内容をまとめて発表したり、レポートを作成したりするなど、適切に表現する。	な組織の役割について幸福、正義、公正などを用いて多面的・多角的に考察し、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。【思考・判断・表現】 国際社会の動向や諸問題に関する諸資料を収集し、効果的に活用している。【資料活用の技能】 地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差、国際的な組織の役割について理解し、その知識を身に付けている。【知識・理解】
12 1 2	共通テスト問題演習 国公立2次試験対策・ 県外私大対策演習	これまでの学習を振り返り、共通テスト試験対策を行う。	3 3	共通テスト過去問題・センタ試験過去問題、私大過去問を通して、これまでの学習を振り返る。	社会の諸問題を幸福、正義、公正などを用いて多面的・多角的に理解し、その知識を身に付けている。【知識・理解】 社会の諸問題について様々な資料を収集・選択し、効果的に活用できる。【資料活用の技能】

評価の方法：下記の状況と評価の観点に基づいて総合的に判断します。

- (1)定期考査（1学期～2学期の中間・期末テスト及び3学期学年末テスト）
- (2)課題点【課題・復習プリント・小テスト・提出物の提出】

学習上の留意点

- (1)様々なつながりを念頭に、様々な情報【インターネット、TV等】で世界や社会の動きに、関心を持つようにしましょう。
- (2)様々な資料から得られる情報と授業で学んだ知識を関連付ける姿勢を持ち、問題、仮説を立て、資料に基づいて根拠を示したり、検証したりする姿勢を身に着けるようにしましょう
- (3)授業を受ける際には、教科書・資料集など読み込むようにしましょう